

歯科技工フェア GIFU2020

～デジタル技工の(今・これから)～

CAD/CAM関連機材の展示・相談コーナー

2020年

4月5日 日 10:00-14:00

岐阜産業会館 5F大会議室

岐阜市六条南2-11-1

会員:無料
会員外:5,000円
学生:無料

講演

「オーラルスキャナとCAD/CAMシステムの
連携を目指して」

講師：黒見正太先生(株式会社松風)

会員発表

- * デジタル技工に関するアンケート報告 渡辺敏男会員
- * デジタル技工～3Dプリンターの臨床応用(コバルトクロム編)～ 林千菜美会員
- * スキャナー 3機種とCADソフト4種類を比べてみる 安達健太郎会員
- * 小規模ラボのデジタル活用法 新川哲矢会員

お申し込み
お問い合わせ

一般社団法人岐阜県歯科技工士会事務局
TEL: 058-273-0106



歯科技工フェア-GIFU2020 講演抄録

講演

「オーラルスキャナと CAD/CAM システムの連携を目指して」

黒見正太先生（株式会社松風）

ラボサイドでは2014年にCAD/CAMが保険収載されて、デジタル機器の普及率が大きく上昇しました。近年ではチェアサイドにおいてもオーラルスキャナが注目され、いよいよ本格的なデジタルデンティストリーの到来と感じさせられます。

実際にオーラルスキャナのデータを用いて補綴物を制作しているなか、一般的な印象採得とデジタル印象との違いに注意が必要なケースも散見されます。

今回はオーラルスキャナの特性とCAD/CAMシステムの特徴を踏まえ、その連携を活かしたシステムを紹介したいと思います。

会員発表

「デジタル技工に関するアンケート報告」

渡辺敏男会員

デジタル技工の普及に伴い、岐阜県歯科技工士会会員の現状の把握と、今後の意向、および効率の良い連携を進める研究事業を目的に全会員対象のアンケートを実施したので報告する。年齢別、職場環境、地域など出来る限り分析した。今後の事業に活用していく予定である。

「デジタル技工 ～3D プリンターの臨床応用(コバルトクロム編)～」

林千菜美会員

3D プリンターの基本的な説明からどのように 3D プリンターを利用しているかを臨床例を交えながら技工がどのように変わるのかを工程毎に紹介していきます。

「スキャナー3機種とCADソフト4種類を比べてみる」

安達健太郎会員

私のラボでは今までにスキャナー3機種、CADソフトは4種類使用してきた。

現在では2機種のスキャナーと2種類のCADソフトを主に使用している。

CAD/CAM冠をはじめジルコニアクラウン、フレーム。また、メタルボンド用コバルトクロムフレーム。インプラントブリッジやカスタムアバットメントなど様々な補綴装置がデジタル技工に置き換わってきている。歯科技工からワックスアップ作業は完全になくなることはまだないと考えるが、少しずつブンゼンバーナーの前に座りインスツルメントを持つ時間よりパソコンの前でマウスを操作する時間が増えていくであろう。

現役引退した機種も含め作業工程や使い勝手を動画を交えて解説していく。

「小規模ラボのデジタル活用法」

新川哲矢会員

CAD CAM冠が保険収載されるようになってからデジタル機器が普及し小規模ラボでも導入が可能となった。当初はスキャナーのみ導入によりデータを送信し加工をアウトソーシングしていたもののエントリーモデルの選択によってスキャナー、CAD/CAM、加工機、シンタリングファーンをシステム化しインハウスで完結出来るようになった。それは単にCADCAM冠の為のハイブリッドレジンブロックの加工のみならず各種の素材を加工し補綴物製作に応用出来る可能性を示唆している。自身が行っているこれらデジタル機器の活用法と効率化による作業時間の短縮の現状を示したい。